

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第48号

平成22年6月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ 東京聖徳学園 検索
http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

聖徳フラッシュ

主なトピックス

- ・聖徳大学短期大学部が千葉興業銀行と連携協定締結
- ・聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 全国初！女子教育プログラムの教育課程特例校に
- ・平成22年春の救難
- ・本学園関係者より5名の受章者
- ・研究所リー・連載 所長の伝言板(第1回) “言語文化の聖徳”へ
- ・大杉が行く！シリーズNo.4「走る」を楽しもう！
- ・第1回 松戸市民のための聖徳大学地域スポーツふれあい教室
- ・聖徳フレンドシップデイ(SFD) 幼児教育専門学校
- ・第18回 管弦楽部定期演奏会 附属女子中学校・高等学校
- ・聖徳フレッシュメンズキャンプ(SFC) 取手聖徳女子中学校・高等学校
- ・今年も充実、明和班活動！ 附属小学校
- ・楽しい父参観 多摩中央幼稚園
- ・もうすぐ給食スタート「ならし給食」 附属第二幼稚園
- ・第43回 SEITOKU 夏期保育大学 7月24日開催

INDEX

学園	1・2
大学院・大学・短大	1~4
幼児教育専門学校	5
附属女子中・高	5
取手聖徳女子中・高	1・5
小学校	6
幼稚園	6・7
インフォメーション	8

より豊かな未来に向け ISO認証を更新

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO 9001
(教育の質マネジメントシステム)

ISO 14001
(環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報誌です。本紙に関するご意見/ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<http://www.seitoku.jp/gakuen/taiwase/>
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

聖徳大学短期大学部が 千葉興業銀行と連携協定締結



聖徳大学短期大学部は千葉興業銀行と、キャリア教育の推進と地場産業支援等に関する相互協力の協定を締結しました。五月十日(月)、聖徳大学で川並弘昭学長(写真右)と青柳俊一千葉興業銀行頭取(写真左)が協定書に調印しました。

調印式後の記者会見で、川並学長は「文部科学省でも、実業の現場や地域との関係を深めた教育の取り組み

の展開が教育効果を上げると指摘している。本学ではこれまで一般企業との間で連携することは難しかったが、今回の連携をきっかけとして(学生が)企業に飛び込み、企業意識を学ぶことが大切である。取り組みを通じ、社会人の一員として活躍できる素地を学生に芽生えさせてほしい」と語りました。また、青柳頭取は「本行では新しい経営ビジョンの中で、地域との関係強化を打ち出しており、今回の提携は大変うれしく誇らしく思う」と述べられました。

提携による本学側の実行部隊となるのは短期大学部総合文化学科です。同学科では、今年九月に千葉興業銀行の主催による千葉興業農水産物の見本市「千産千商2010」に協力することになっていきます。具体的には、千葉県産の食材を使って総合文化学科の学生が「聖徳レシピ」を作り、調理して紹介したり、参加企業のポスターやパンフレットを作るなどの協力をします。学生は普段の学習の成果を、実際のビジネスの場で応用することになり、実践的なキャリア教育を体験することになります。

- ① 相互研修による資質、能力の向上
- ② インターシップの実施及びキャリア教育支援による人材の育成
- ③ 研究成果の事業化、コンサルティングによるベンチャー企業の育成
- ④ その他目的達成に必要なと認める事項

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 全国初！女子教育プログラムの 教育課程特例校に

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校が、平成二十二年二月二十三日付で、女子教育では全国初の教育課程特例校に文部科学大臣から指定され、本年度から教育課程に「女性キャリア」を取り入れることになりました。

同校では、「小笠原流礼法」や「書道」を教育課程に取り入れているほか、食育教育として全生徒と全教員

の「会食」の実践などを通じて、社会に奉仕できる女性の育成を目指しています。「女性キャリア」は、知性と気品を兼ね備えた自立した女性、社会に貢献しようる意欲と資質を身に付けた女性の育成を目指す領域で、長野雅弘校長は、「これからの中学校、高等学校の女子教育の手に」と意気込みを語っています。

21文科初第595号
教育課程特例校指定書

平成21年11月20日付で
学校法人東京聖徳学園から申請のあつた
学校を教育課程特例校制度実施受項
(平成20年10月16日 文部科学大臣決定)
に基づき教育課程特例校に指定します

平成22年2月23日
文部科学大臣 川端 達夫

坂東眞理子氏の講演会を開催

開講を記念して、四月十七日(土)、「女性の品格」などさまざまな著書で知られ

る坂東眞理子氏の講演会が行われました。坂東氏からは、全生徒に対して、「これからの長い人生を二十世紀モデルで生きなければならぬ、それは父母の時代とは異なるものである」「夢は実現しないかもしれない、でも夢みたことしか人生では実現しない」というメッセージ、さらに、「夢を実現するために必要な『三つの力』①グローバルに通ずる力を身に付ける、②コミュニケーション能力を身に付ける、③自分を大切にすること」についての丁寧で分かりやすい解説などがありました。



続々達成!!「卒業偏差値」高さの証明!! 就職実績、国家試験合格率で高い実績。

速報1 聖徳大学・聖徳大学短期大学部の実力です!

- ★ 幼稚園教員採用数 ★ 保育士採用数 **4年連続 全国1位**
- ★ 公立小学校教員採用試験合格者数 **122名**
- ★ 公立保育士採用試験合格者数 **71名**
- ★ 第24回 管理栄養士国家試験 大学・人間栄養学科 平成22年3月卒業者(新卒)合格率 **87.9%**

※2008~2011年版 週刊朝日進学MOOK「大学ランキング」より
※平成22年度合格者(大学・児童学科通学課程のみ、既卒者含む)(平成22年3月現在)
※平成22年度合格者(大学・児童学科、短大・保育科(現役))(平成22年3月現在)
管理栄養士養成課程(新卒)平均合格率78.7%

速報2 聖徳大学通信教育部の実力です!

- ★ 社会福祉士国家試験合格率 **全国1位**
- ★ 精神保健福祉士国家試験合格者数 **全国3位**

通信制の大学の中で **2年連続 全国1位**
平成22年 第22回 合格率 **52.0%**(新卒52.0%、既卒52.1%)
※社団法人 日本社会福祉士養成校協会HP (<http://www.jascsw.jp/index.html>)より通信制大学、大学通信教育部のみ抜粋
※2011年版 週刊朝日進学MOOK「大学ランキング」より

本紙最終ページに、オープンキャンパス・入学説明会の日程をまとめた「学校説明会関係行事のご案内」を掲載しております。ぜひご参加ください。

とになります。また、総合文化学科では千葉興業銀行のスタッフを社会人講師としてお招きし、実務型キャリア教育を推進していくことでも合意しており、本年度から実施する計画です。



柳沢香絵講師



百瀬定雄准教授

日本代表選手団の活躍で、記憶に新しいバンクーバーオリンピック(第二十一回オリンピック)冬季競技大会。日本列島は今年二月の寒い季節を、テレビを通して、熱い一ヶ月間として大いに盛り上がりました。

バンクーバーの熱気伝わる「冬季国際大会報告会」を開催

本学からは、大学院教職研究科の百瀬定雄准教授がリージュ日本代表監督として、また人間栄養学科の柳沢香絵講師が、スピードスケートチーム栄養サポートとして現地に派遣されました。三月二十三日(火)には聖徳大学香順メディアホールにて、現地で練り広げられた熱き戦いの様子など、映像やエピソードを交えながら、先生方による「報告会」を開催しました。

当日は約八十名の方々がお集まりになり、柳沢先生からは、「選手村の食事が口にあわず苦労する中で、選手一人ひとりとって、勇気、元気の源となった食料が『おにぎり』であった」というエピソードなど、選手団の「日本人らしさ」、アスリートの栄養管理、異国の地での栄養サポートの重要性などをうかがい知ることができお話をありがとうございました。

また、百瀬先生からは、「二見、危険なスポーツとして捉えられがちなりージュ競技は、子どもが雪の上でソリに乗るときの自由な発想(あお向け姿勢リージュ)」が、実はルーツとなっている」という、競技に親しみを持てるお話がありました。さらに、日本選手団公式ユニホーム、実際に競技で使用された本物のソリを展示するなど、会場はオリピックさながらの熱気に包まれていました。

今年三月に卒業した学生が集う新人演奏会が、五月三日(月・祝)、四日(火・祝)に上野の東京文化会館大ホールで行われました。日本の国内外で活躍するプロを

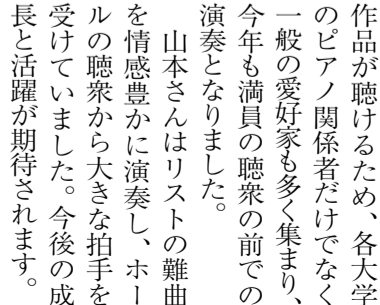
多くプロを輩出 伝統の演奏会に出演 読売新聞社主催 第八十回 新人演奏会

多く輩出してきた、この伝統ある演奏会も八十回を迎え、今年日本全国から十三校九十四名が選ばれました。本学からは、平成二十一年度音楽文化学科卒業生、同声楽コース卒業の本宮友紀さん、同器楽コース(フルート)卒業の関口智美さん、同器楽コース卒業(ピアノ)の飯笹史佳さんの四名が、三日の午後の部に出演しました。

一方、及川さんは、近代イタリア歌曲からベネディクトの「みそさざい」を、関口さんのフルート伴奏、飯笹さんのピアノ伴奏で軽快にさつそうと演奏し、三人が紡ぎ出すアンサンブルは大変心地良いものでした。会場には本学教職員、同級生、後輩等、多くの人たちが応援に駆けつけ、会場のお客様と共に、彼女たちの演奏に温かい拍手を送っていました。

四月十一日(日)に東京文化会館小ホールで、日本ピアノ調律師協会主催第十一回新人演奏会が開催されました。本学からは、平成二十一年度音楽文化学科卒業生、同声楽コース(ピアノ)卒業の山本矩子さんが出場し、リスト作曲「スペイン狂詩曲」を演奏しました。

この新人演奏会では、首都圏の音楽系大学十二校から一名ずつ選ばれたピアノ専攻の卒業生が演奏します。一人約十五分の演奏時間があり、内容豊かなピアノ作品が聴けるため、各大学のピアノ関係者だけでなく、一般の愛好家も多く集まり、今年も満員の聴衆の前での演奏となりました。山本さんはリストの難曲を情感豊かに演奏し、ホールの聴衆から大きな拍手を受けていました。今後の成長と活躍が期待されます。



左より関口さん、及川さん

今年三月に卒業した学生が集う新人演奏会が、五月三日(月・祝)、四日(火・祝)に上野の東京文化会館大ホールで行われました。日本の国内外で活躍するプロを

多くプロを輩出 伝統の演奏会に出演 読売新聞社主催 第八十回 新人演奏会

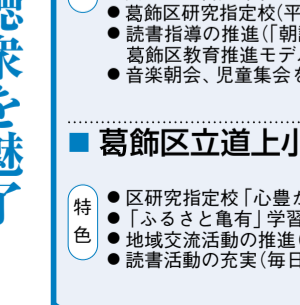
多く輩出してきた、この伝統ある演奏会も八十回を迎え、今年日本全国から十三校九十四名が選ばれました。本学からは、平成二十一年度音楽文化学科卒業生、同声楽コース卒業の本宮友紀さん、同器楽コース(フルート)卒業の関口智美さん、同器楽コース卒業(ピアノ)の飯笹史佳さんの四名が、三日の午後の部に出演しました。

一方、及川さんは、近代イタリア歌曲からベネディクトの「みそさざい」を、関口さんのフルート伴奏、飯笹さんのピアノ伴奏で軽快にさつそうと演奏し、三人が紡ぎ出すアンサンブルは大変心地良いものでした。会場には本学教職員、同級生、後輩等、多くの人たちが応援に駆けつけ、会場のお客様と共に、彼女たちの演奏に温かい拍手を送っていました。

四月十一日(日)に東京文化会館小ホールで、日本ピアノ調律師協会主催第十一回新人演奏会が開催されました。本学からは、平成二十一年度音楽文化学科卒業生、同声楽コース(ピアノ)卒業の山本矩子さんが出場し、リスト作曲「スペイン狂詩曲」を演奏しました。

この新人演奏会では、首都圏の音楽系大学十二校から一名ずつ選ばれたピアノ専攻の卒業生が演奏します。一人約十五分の演奏時間があり、内容豊かなピアノ

作品が聴けるため、各大学のピアノ関係者だけでなく、一般の愛好家も多く集まり、今年も満員の聴衆の前での演奏となりました。山本さんはリストの難曲を情感豊かに演奏し、ホールの聴衆から大きな拍手を受けていました。今後の成長と活躍が期待されます。



左より関口さん、及川さん

平成二十二年 春の叙勲

四月二十九日(木祝)に平成二十二年の春の叙勲が発表され、本学園関係者では五名の先生方が受章されました。瑞宝章は、教育など公共的な業務に長年にわたり従事し、功績を挙げた人に贈られます。心よりお祝い申し上げます。

瑞宝中綬章
(文部行政事務功労)

学校法人東京聖徳学園 理事・評議員
小林敬治先生

瑞宝小綬章
(教育研究功労 教育功労)

聖徳大学短期大学部保育科教授 聖徳大学附属幼稚園総園長 附属第一幼稚園 附属第三幼稚園 附属浦安幼稚園園長
川並知子先生

瑞宝中綬章
(教育功労)

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校 高等部校長 聖徳大学附属聖徳中学校 高等部校長 英米文化学科長 元聖徳大学 児童学科 教授
岡本裕之先生

瑞宝中綬章
(教育研究功労)

元聖徳大学 英米文化学科 教授 大学院言語文化研究科長 人文学部長 英米文化学科長 現代ビジネス学科長
青柳晃一先生

瑞宝中綬章
(教育研究功労)

元聖徳大学 日本文化学科 教授
大友信一先生

連携協力校(園)の紹介 Vol.5

前回に引き続き、教職研究科の学生が総合実習の授業において、学校経営や教育活動を総合的に体験する連携協力校を紹介いたします。

足立区立大谷田小学校 校長: 大橋 利通
所在地: 東京都足立区中川4-41-27 Tel: 03-3605-6344

- 基礎学力の定着(少人数指導、ドリルタイム、英語活動、授業ボランティアによる放課後支援を実施)
- 地域との連携強化(図書ボランティアによる読み聞かせ、農園ボランティアと体験活動、開かれた学校作り協議会開催、資源回収活動、大谷田まつり参加)

●教員数 17人 ●学級数 11 ●児童数 325人

足立区立千寿本町小学校 校長: 林 正樹
所在地: 東京都足立区千住3-30 Tel: 03-3888-8361

- 安全教育(生活安全、交通安全、災害に関する安全教育)に力点。安全教育プログラム開発事業モデル校(平成19年度、都指定)
- 少人数指導教育の徹底 ●区コミュニティ施設として区民に施設を開放
- 難聴・言語学級併設校

●教員数 26人 ●学級数 15 ●児童数 509人

荒川区立尾久小学校 校長: 堀内 俊雄
所在地: 東京都荒川区東尾久5-6-7 Tel: 03-3893-7894

- 学力向上に向けて研究推進(授業改善研究をさらに充実。児童一人ひとりに「確かな学力」を身に付けさせる研究を促進)
- 豊かな心の教育推進(尾久の森や学級農園など自然に触れる環境を生かし、栽培活動を通して優しさや思いやりの心を育てる)
- 地域や他校との交流活動推進(家庭・地域との連携を深め、学校周辺の商店街や保育園等の人材を生かし学校教育を高める。地域ボランティアの援助を得て環境教育を推進)

●教員数 19人 ●学級数 12 ●児童数 357人

荒川区立第三日暮里小学校 校長: 伊津 壽美
所在地: 東京都荒川区東日暮里3-10-17 Tel: 03-3891-6307

- 荒川区教育委員会習熟度別学習重点校(算数と理科において児童一人ひとりの習熟に応じた学習)
- 英語教育重点校(外国人講師、英語教育アドバイザーの協力で全学年実施)
- 学校農園活動の充実(荒川区教育委員会学校表彰)。児童が耕し、種や苗を植え、収穫する

●教員数 24人 ●学級数 15 ●児童数 473人

葛飾区立金町小学校 校長: 西崎 泰生
所在地: 東京都葛飾区金町3-44-1 Tel: 03-3607-0354

- 健康教育の取り組み(年間通して朝のジョギングと「裸足の生活」を推進)
- 環境教育の推進(都の芝生に協力し第二家庭を芝生化。田んぼ作り、畑作り、エコの林作りを実施して自然環境を大切にすることを育てる)
- 葛飾区研究指定校(平成22・23年度、心と体の健康づくり)
- 読書指導の推進(「朝読書」や保護者による「読み聞かせ」を年間通して実施。平成16・17年度、葛飾区教育推進モデル校)
- 音楽朝会、児童集会を行い、楽しく生き生きとした学校生活ができるよう指導

●教員数 17人 ●学級数 12 ●児童数 416人

葛飾区立道上小学校 校長: 渡邊 正弘
所在地: 東京都葛飾区亀有4-35-1 Tel: 03-3601-8833

- 区研究指定校「心豊かに生きる子どもの育成」(平成18・19年度、国語科)
- 「ふるさと亀有」学習の推進(地域の人材・歴史・文化を生かした学習やお店体験)
- 地域交流活動の推進(ミニコンサートの実施、亀有ふれあい祭への参加)
- 読書活動の充実(毎日10分間の読書、図書ボランティアによる読み聞かせ、地域図書館との連携)

●教員数 29人 ●学級数 21 ●児童数 735人

左より関口さん、及川さん

教職大学院 ニュース

聖徳大学大学院 教職研究科

第8回

研究所リレー連載 所長の伝言板(第一回)

言語文化の聖徳へ



聖徳大学 言語文化研究所長 山口博 教授

平成二年に創立した聖徳大学は、今年で二十周年を迎えますが、言語文化研究所は翌年に設置されています。大学の研究活動を担う重要な機関として、大学と共に歩み続けてきたのです。その間、日本の大学は大きく性格を変えました。閉鎖的な研究機関から開放された市民の大学へと。言語文化研究所も平成十四年ごろからその路線を選び、成功して現在の活発な姿になりました。

「源氏物語と王朝の雅」「松本清張 古代史学からのスタート」「冷泉家の伝える王朝文華」「考古資料の捏造」等々、講演会はいずれもヒットしました。平家珪

「源氏物語と王朝の雅」松本清張 古代史学からのスタート「冷泉家の伝える王朝文華」「考古資料の捏造」等々、講演会はいずれもヒットしました。平家珪

講演会Information

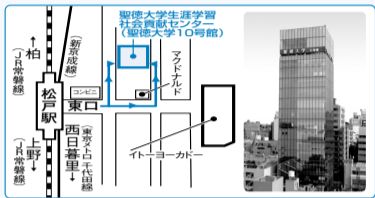
聖徳大学創立20周年記念

平城遷都1300年

古代氏族の栄光と挫折

- 満員御礼 5月12日(水)「大伴氏、凋落への道」 聖徳大学言語文化研究所長 文学博士 山口博
- 満員御礼 5月17日(月)「物部氏の成立」 成城大学教授 博士(文学) 篠川賢
- 満員御礼 5月29日(土)「中臣氏と藤原氏」 中部大学教授 博士(文学) 大山誠一
- 6月3日(木)「蘇我氏の人々」 聖徳大学准教授 博士(文学) 黒須利夫
- 6月14日(月)「橘氏の可能性」 早稲田大学・鶴見大学非常勤講師 博士(文学) 松尾光
- 6月23日(水)「ワニ氏とは何か」 中央大学・成城大学非常勤講師 博士(文学) 加藤謙吉

- ※各回共通
- 時間/14:00~15:30
- 場所/聖徳大学10号館14階
- 参加費/無料
- 定員/先着150名(予約不要)
- 後援/松戸市教育委員会/柏市教育委員会/市川市教育委員会/取手市教育委員会



[主催・お問い合わせ] 聖徳大学言語文化研究所 Tel.047-365-1111(代)

次回は、児童学研究所が登場します。ご期待ください。

笑いと音楽に包まれ SOAオープンングセレモニー



開催

四月十七日(土)、聖徳大学川並香順記念講堂にて、「平成二十二年度聖徳大学オープンアカデミー(SOA)のオープンングセレモニー」が開催されました。当初、駅前前の聖徳大学生涯学習社会貢献センター(大学十号館)で実施される予定でしたが、予想を上回る申し込みがあり、会場を変更して実施しました。当日は、この時期としては四十一年ぶりの降雪にもかかわらず、多くの来場者が詰めかけました。

今年度は、「笑い」をSOAの年間テーマとしており、公開講演会では、落語家の桂文楽氏を講師に迎え、「笑いのある人生」落語を一緒に「笑い」をテーマに、講演に加え、落語が一席披露されました。



[講座のお申し込み・お問い合わせ] 聖徳大学生涯学習課 Tel.047-365-3601(直通)

総合文化学科 春季就職セミナーを開催



総合文化学科では、二〇〇四年の学科設立当初より、年に二度、卒業生を講師とした学科独自の就職セミナーを実施してきました。今年度も四月十七日(土)に、キャリア支援室の協力を得て、新二年生のための就職セミナーを開催しました。六名の講師は、新社会人から勤続三年といったワーキング・ウーマンまで、業種・職種も多種多様です。最初に講師から就職活動や仕事についての全体的なアドバイスをしてもらい、次に、一名の講師に約十名の学生が集まり、グループミーティングを実施しました。

どの講師も就職活動の際、「キャリア支援室を利用して内定を獲得した」「SPIの勉強をした」と話し、キャリア支援室の重要性と

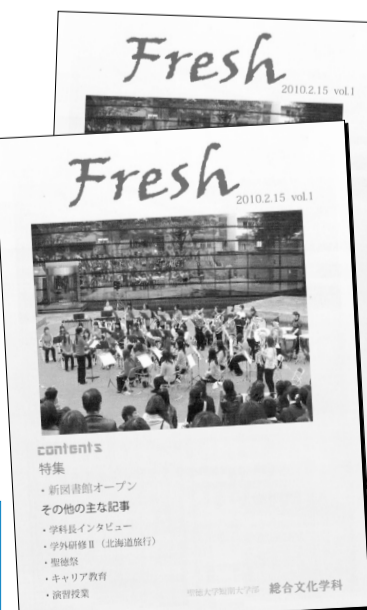
「就職活動の際のお化粧はどうしたらよいか」「お給料はどのくらいか」といった、従来の企業セミナーでは質問しにくいような内容について、講師と学生が気軽に話していました。

講師は皆、姿勢がよく、言葉遣いも丁寧で、学生たちが憧れ、目標にしたいと思うすてきなBISOCIE(Become Independent in Society)の自立した女性」の意です。多くの学生が、「勉強に

総合文化学科 学術広報誌「Fresh」を創刊

総合文化学科では、この春、文芸・編集ブランチ、図書館司書ブランチ、製菓ブランチの学生が、学術の広報誌「Fresh」を制作しました。「DTPオペレーション」(担当:野中博史教授)という授業の成果です。企画から取材、記事の執筆、編集、印刷、製本まで全ての作業を学生が行っています。

記念すべき創刊号は、新図書館の特集や聖徳祭、学外研修Ⅱ(北海道旅行)、学科独自のキャリア教育、DTP演習で作ったポスター、製菓実習で作ったパンやケーキの紹介など盛りだくさんです。この小冊子を、学生だけでなく、保護者の皆さまや受験を控えた高校生など多くの方々にご覧いただきました。



お問い合わせ先 (担当)総合文化学科 しょうどうじ 正道寺准教授まで TEL.047-365-1111(大代)

※BISOCIEとは、Become Independent in Society (社会的自立)の略称であり、総合文化学科のキャリア教育の象徴とも言える言葉です。

学生課

新入生歓迎フレンドシップ ツアー(FIT)を終えて

平成二十二年度の新入生歓迎フレンドシップツアー(FIT)が、五月六日(木)の一日からスタートして、全六班編成にて行われました。この研修は、新緑の自然の中で、一泊二日の集団行動



彫刻の森美術館にて

をする事により、新入生と上級生、先生と学生がより強く結びつき、社会人になる上で必要な規則正しい団体生活を身に付けることを目的としています。

全体のスケジュールは、一日目の午後の活動、同日夕食後のグループミーティング、そして二日目の美術館見学で構成されています。夕食後に行われたグループミーティングでは、二年生が一年生を歓迎して上級生の部屋で自己紹介等をし、先生方も交えて親睦を深めていました。

全日程の中で印象に残ったのは、彫刻の森美術館の

見学です。館内には、本学にも作品を所蔵していることにおなじみの舟越保武氏、多田美波氏、流政之氏等の作品がありました。各氏の作品をプリントにして学生に配布し、見学ポイントとして示しました。

学生たちは作品を見学し、学内にある彫刻や記念講堂内のレリーフ、綴帳、シャンデリアやステンドグラスなど、数々の作品について今までよりも身近に感じられるようになったことと思います。こういったところにも、「本物を見て教養を深める」という本学の芸術作品に対する考え方を改めて感じるとともに、この二日間は学生にとつて新しい人間関係を構築し、今までにない貴重な体験ができた時間であったと確信しております。

「回廊マップ」が完成

児童学科

四月に入ってすぐ松戸市役所都市計画課から、すてきなプレゼントが届きました。かわいらしいイラスト入りの「水とみどり」と歴史の回廊マップ(矢切地区)です。これは今年三月に卒



左より寺内裕子さん、寺腰育恵さん、神谷准教授、佐久間奈津絵さん

業した児童学科児童文化コースの佐久間奈津絵さん、寺内裕子さん、寺腰育恵さんが、児童学科・神谷明宏准教授の指導の下、作成した力作です。

神谷准教授が昨年担当した「大学の地域交流と社会貢献」の授業を通じて知り合った、松戸市の職員の方から「松戸市で発行している水とみどりと歴史の散策路の地図を再版するにあたって何かよいアイデアはないか」と相談を受けたのが始まり。クラスで有志を募ったところ、上記の三人の手が挙がりました。卒業論文の提出を済ませ、



卒業までの三ヶ月で計画から実地踏査、作図を経て完成させた力作です。

「役所では発想できないアイデア」と好評のようで、「引き続き他の地区についても」との話が出ています。女子大学生ならではの発想を生かした社会貢献活動です。

大杉が行く! No.4



三月二十七日(土)、「第一回松戸市民のための聖徳大学地域スポーツふれあい教室」を開催しました。このランニング初心者への導入を目的とした教室を児童に交じって、大杉が体験リポートしました。

本学大学院教職研究科・百瀬定雄准教授(バンクーバーオリピック・リユニージュ日本代表監督)、人間栄養学科在学中の高橋千恵美さん(シドニーオリンピック・陸上女子二万メートル日本代表)らの指導の下、松戸市内の小学校に通学する五六年生を中心とした高学年児童三十四名が参加しました。今回は、このランニング初心者への導入を目的とした教室を児童に交じって、大杉が体験リポートしました。

① 痛い? 気持ちいい? ストレッチ

「今日は走る基本をしっかりと身に付け、楽しむことをメインに行います。」雲一つない青空、緑鮮やかな芝生、茶色のじゅうたんのようなトラックが眩しい附属小グラウンドに、百瀬先生、高橋さんの声が響きました。開会式が終わると、高橋さんを先頭にグラウンドを走りながら移動し、まず始めに行ったのが、柔軟性を高めるため、長距離ではとても重要とされるストレッチ。特に、地面におお向けになりながら脚・腰をねじる運動では、児童たちから「痛い」「でも気持ちいい」という声が続々と聞かれました。

「今日は走る基本をしっかりと身に付け、楽しむことをメインに行います。」雲一つない青空、緑鮮やかな芝生、茶色のじゅうたんのようなトラックが眩しい附属小グラウンドに、百瀬先生、高橋さんの声が響きました。開会式が終わると、高橋さんを先頭にグラウンドを走りながら移動し、まず始めに行ったのが、柔軟性を高めるため、長距離ではとても重要とされるストレッチ。特に、地面におお向けになりながら脚・腰をねじる運動では、児童たちから「痛い」「でも気持ちいい」という声が続々と聞かれました。

「今日は走る基本をしっかりと身に付け、楽しむことをメインに行います。」雲一つない青空、緑鮮やかな芝生、茶色のじゅうたんのようなトラックが眩しい附属小グラウンドに、百瀬先生、高橋さんの声が響きました。開会式が終わると、高橋さんを先頭にグラウンドを走りながら移動し、まず始めに行ったのが、柔軟性を高めるため、長距離ではとても重要とされるストレッチ。特に、地面におお向けになりながら脚・腰をねじる運動では、児童たちから「痛い」「でも気持ちいい」という声が続々と聞かれました。

「今日は走る基本をしっかりと身に付け、楽しむことをメインに行います。」雲一つない青空、緑鮮やかな芝生、茶色のじゅうたんのようなトラックが眩しい附属小グラウンドに、百瀬先生、高橋さんの声が響きました。開会式が終わると、高橋さんを先頭にグラウンドを走りながら移動し、まず始めに行ったのが、柔軟性を高めるため、長距離ではとても重要とされるストレッチ。特に、地面におお向けになりながら脚・腰をねじる運動では、児童たちから「痛い」「でも気持ちいい」という声が続々と聞かれました。

「今日は走る基本をしっかりと身に付け、楽しむことをメインに行います。」雲一つない青空、緑鮮やかな芝生、茶色のじゅうたんのようなトラックが眩しい附属小グラウンドに、百瀬先生、高橋さんの声が響きました。開会式が終わると、高橋さんを先頭にグラウンドを走りながら移動し、まず始めに行ったのが、柔軟性を高めるため、長距離ではとても重要とされるストレッチ。特に、地面におお向けになりながら脚・腰をねじる運動では、児童たちから「痛い」「でも気持ちいい」という声が続々と聞かれました。



「今日は走る基本をしっかりと身に付け、楽しむことをメインに行います。」雲一つない青空、緑鮮やかな芝生、茶色のじゅうたんのようなトラックが眩しい附属小グラウンドに、百瀬先生、高橋さんの声が響きました。開会式が終わると、高橋さんを先頭にグラウンドを走りながら移動し、まず始めに行ったのが、柔軟性を高めるため、長距離ではとても重要とされるストレッチ。特に、地面におお向けになりながら脚・腰をねじる運動では、児童たちから「痛い」「でも気持ちいい」という声が続々と聞かれました。

「今日は走る基本をしっかりと身に付け、楽しむことをメインに行います。」雲一つない青空、緑鮮やかな芝生、茶色のじゅうたんのようなトラックが眩しい附属小グラウンドに、百瀬先生、高橋さんの声が響きました。開会式が終わると、高橋さんを先頭にグラウンドを走りながら移動し、まず始めに行ったのが、柔軟性を高めるため、長距離ではとても重要とされるストレッチ。特に、地面におお向けになりながら脚・腰をねじる運動では、児童たちから「痛い」「でも気持ちいい」という声が続々と聞かれました。

「今日は走る基本をしっかりと身に付け、楽しむことをメインに行います。」雲一つない青空、緑鮮やかな芝生、茶色のじゅうたんのようなトラックが眩しい附属小グラウンドに、百瀬先生、高橋さんの声が響きました。開会式が終わると、高橋さんを先頭にグラウンドを走りながら移動し、まず始めに行ったのが、柔軟性を高めるため、長距離ではとても重要とされるストレッチ。特に、地面におお向けになりながら脚・腰をねじる運動では、児童たちから「痛い」「でも気持ちいい」という声が続々と聞かれました。

「今日は走る基本をしっかりと身に付け、楽しむことをメインに行います。」雲一つない青空、緑鮮やかな芝生、茶色のじゅうたんのようなトラックが眩しい附属小グラウンドに、百瀬先生、高橋さんの声が響きました。開会式が終わると、高橋さんを先頭にグラウンドを走りながら移動し、まず始めに行ったのが、柔軟性を高めるため、長距離ではとても重要とされるストレッチ。特に、地面におお向けになりながら脚・腰をねじる運動では、児童たちから「痛い」「でも気持ちいい」という声が続々と聞かれました。

③ 紙を落とさず走れ

次に、新聞紙を使ったリレーをしました。新聞紙を胸にあて、ゴールまで落とさないように走るといいます。このゲームは、理想のランニングフォームを楽しむことが目的です。

④ 走ってなわとび

今度は、長なわとびを使った練習です。その際、単に跳び越えるのではなく、走りの動作の一步であることを意識して、走り抜けます。なんと私も失敗せずこなせました。

⑥ 高橋さんへの質問

閉会式では、「いつからオリンピックに出たいと思っていたのですか」という児童の質問に対し、高橋さんは「小学校三年生の時、作文に書きました」と答えていました。児童たちは、今の自分たちよりも早い時期であることにとても驚いていました。今回の教室では、「走る」と同時に、「夢を持つ」とも学んでくれたようです。



百瀬定雄准教授



高橋千恵美さん

幼児教育専門学校

学生生活のスタート 新入生オリエンテーション

四月八日(木)、九日(金)、聖徳大学幼児教育専門学校では、新入生オリエンテーションを実施しました。川並弘純校長代行による講話や、学生生活のガイダンスなどを通じて、聖徳の教育についての理解を深め、新入生は入学式に臨みます。

新二年生のオリエンテーション委員は、先輩として授業開始まで新入生のお世話をし、新入生と接するその姿はとても頼もしく、これからの学生生活や保育の現場でもリーダーシップを発揮していきます。



このオリエンテーションが学校生活の始まりとなります。一日も早く学校に慣れ、すてきな保育者を目指して頑張ってくれることを期待しています。



四月十七日(土)、専門学校では、聖徳フレンドシップデイが行われました。当日は四月とは思えないみぞれ交じりの天候でしたが、午後からは青空も見られ、

意義深い一日となりました。午前中は、上級生主催によるグループミーティングが開かれ、自己紹介、ゲーム、学生生活Q&Aなど多彩なプログラムで、上級生と新入生の交流を深めることができました。即興のゲームでは上級生がこれまでに学んだ手遊びを披露し、緊張気味だった新入生からも自然と笑顔がこぼれるなど、近い将来、保育者になっていく学生らしい姿も随所に感じられました。学生生活Q&Aでは、上級生がピアノや折り紙上達へのアドバイスを細やかに行っており、先輩としての自覚も出てきた

ようです。午後からは、グループに分かれ、ウォークラリー(専門学校近隣の散策)を行い、東京タワーや増上寺など、地域の歴史的、文化的施設のほか、近隣の保育所や教育施設もコースに含まれていました。今回初めての試みのウォークラリーでしたが、近隣といっても在学中はほとんど訪れることのない施設が多く、学校を出て初めての道を地図片手に歩くことで上級生、新入生の垣根を越えて、話し合い、協力し合う光景が見られました。

今回のSFDは、上級生は新入生のためにいろいろなプログラムを考え、上級生・新入生がお互いを同じ目的を持って学んでいることを感じられる充実した一日となりました。

第49回 保育表現研究発表会 7月10日(土)開催

7月10日(土)、伝統行事である第49回保育表現研究発表会を聖徳大学松戸キャンパスにて開催します。新2年生が、一生懸命練習を重ねたその成果を発表します。ぜひご観覧ください。



附属女子中学校・高等学校

社会科見学を終えて

三月八日(月)と九日(火)の二日に分かれて、聖徳大学附属女子中学校では、三年生が社会科見学に行っていました。両日とも、二班に分かれ、一方は、三越前駅集合で、日本銀行見学からスタートし、もう一方は、霞ヶ関駅集合で、東京地方裁判所からスタートしました。午後は、それぞれ入れ替わりました。

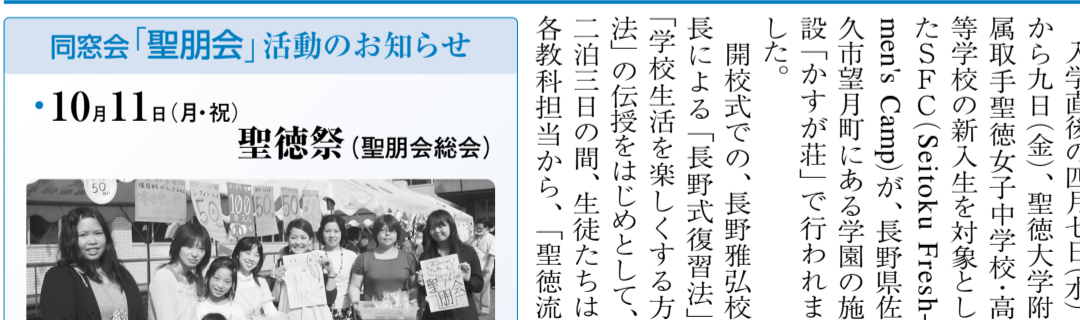
日本銀行では、かつて使っていた金庫や執務室などを見学しました。生徒たちは、金庫の大きさや、関東大震災での消火の時の水の跡などに、驚きの声をあげていました。かつて、始業を知らせた拍子木の音なども昔の時代を感じました。東京地方裁判所では、まず、実際に刑事裁判を傍聴し、その後、裁判のしくみ

についての説明を受け、裁判官席に座ってみたいしました。この社会科見学で、生徒たちが学び取ったものは、実に大きなものがありました。生徒たちは、実際の裁判の傍聴で、時に被告人に同情したり、時に「そういうことをしたんだから、(罰を受けても)仕方ないんだよ」と、厳しく思ったりしたようです。裁判官席に座ってみた生徒たちの中から、未来の法曹が出るかもしれせん。また、この日が、そのきっかけになるかもしれません。



入学直後の四月七日(水)から九日(金)、聖徳大学附属女子聖徳女子中学校・高等学校の新入生を対象としたSFC(Seioku Freshmen's Camp)が、長野県佐久市望月町にある学園の施設「かすが荘」で行われました。開校式での、長野雅弘校長による「長野式復習法」[「学校生活を楽しむ方法」]の伝授をはじめとして、二泊三日の間、生徒たちは各教科担当から、「聖徳流

マのテーマ曲やポピュラー曲も取り入れた、楽しいコンサートになりました。部員は普通科高校生と中学生の約二十名で、オーケストラとしては決して規模が大きくないのですが、各個人が日ごろの練習に熱心に励み、その成果が発揮された演奏会となりました。当日は、全私学新聞の取材があり、模様は四月十四日付の新聞に掲載されました。本番を迎えるまでに、生徒たちは良い演奏会にするためのアイデアをいろいろと考え出しました。演奏曲紹介を生徒がユーモアを交えて説明したり、少人数のアンサンブルを加えたりしました。また、開演前には管弦楽部の卒業生(OG)たちがロビーで弦楽アンサンブルを行うなどして、聴



きに来てくださったお客様を楽しませようという気持ちも感じました。技術的には未熟な面があるものの、演奏する側が音楽を楽しみ、それを伝えていきたいという気持ちを持ちながら、今後いろいろな活動の場を設けて演奏していきます。

取手聖徳女子中学校・高等学校

勉強法や夢の持ち方を伝授 聖徳フレッシュメンズキャンプ(SFC)

また、学習だけではなく、「なぜ学ぶのか」「夢を持つ」をテーマとした講話の時間を設け、いずれの時間も生徒たちは、熱心にメモを取りながらしっかりと話を聞いていました。帰るころには、自信に満ち、やる気に溢れた生徒たちの表情が見られ、これからの学校生活の明るい展望がうかがえ、大変有意義な合宿となりました。

参加した生徒は、「今回のSFCでは、勉強の仕方やその意義、夢や目標を持つことの大切さ、自分で壁をつくらないことを学びました。また、これからは、挨拶を心掛け、思いやりの気持ちを大切にして立派な聖徳生になりたいと思います」と元気良く述べていました。

同窓会「聖朋会」活動のお知らせ

- 10月11日(月・祝) 聖徳祭(聖朋会総会)
 - 11月21日(日) サークル活動「お餅つき」(案)
 - 3月4日(金) 入会式
- 平成22年



「玉こんにゃく」と「手作り菓子」を販売した昨年の様子

附属小学校

ピカピカの聖徳の子 第二十五回 入学式



た。五・六年生のお兄さん、お姉さんに迎えられる、少し緊張した面持ちで体育館へ入場した一年生。しかし、担任の先生に名前を呼ばれると、元気良く返事をし、松山武士校長の話の中で「これができれば聖徳の子ですよ」と語りかけられた時のまなざしには、「よし、頑張るぞ」という気持ちが溢れていました。

前日まで降り続いた雨も上がり、春の柔らかな日差しの中、四月八日(木)に聖徳大学附属小学校の第二十五回入学式が挙行され、九十名の一年生が入学しました。

今年も充実、明和班活動!

聖徳太子の「和の心」を建学の基盤とする聖徳学園、附属小でその具現化を目指す教育活動が、一年生から六年生までの縦割り活動、「明和班活動」です。核家族が多い昨今、異年齢の児童たちが兄弟家族のように交わり合う明和班活動は、まさに本校の人間教育の柱となるものです。六年生のお兄さん・お姉さんを班長として、班の皆で協力してさまざまな活動に取り組みます。

四月には、今年度の明和班のメンバーが初めて一堂に集う「顔合わせ集会」がありました。いよいよ班長として始動する場面であ

つと緊張した面持ちの、でも意欲に満ちた六年生の元に班の皆が集まり、互いに自己紹介し合っただけであって、明和班活動がスタートしました。明和班は、毎日の会食で一日一回、必ず顔を合わせます。そのほかにも、運動会の明和班リレー、清掃奉仕活動、農園でのサツマイモ栽培など、年間を通して班の皆で力を合わせて取り組む活動は山ほどあります。

この活動を通して、下級生は年長の者を敬愛する心、そして上級生は年少の者を慈しむ心を育みます。班長の背中を見て育った下級生は、いつしか自分が班



た。その立派な姿に来賓の方や保護者の方から、たくさん拍手を頂きました。翌日、元気いっぱいに登校し、担任の先生や同級生と楽しそうに話していた児童たち。一週間後には、「二年生を迎える集会・明和班顔合わせ集会」も開かれ、同じ明和班の児童と自己紹介をしました。その後、一年生と一緒にハンカチおとしをしたり、しりとりをしたり、とても和やかな雰囲気でした。一年生に感想を聞くと、「楽しかった」「優しかった」「先生がやさしかった」と答える児童が多かったです。

同窓会 秋和会

「社会で活躍しています、聖徳の子！」



同窓会会員 第1回卒業生 附属小学校教諭 渡辺 五大

小学校同窓会「秋和会」は、第一回の卒業生である嶋崎亨大さんに今年度も引き続き、会長に就任していただくことになりました。

昨年、第一回卒業生で連絡を取り合い、同窓会を開きました。卒業してから何度か会を催し、集まっていたのですが、今回は社会人としては初となる同窓会となりました。三十三歳を過ぎた今も小学生の時の面影を残したままで、小学校時代の懐かしい思い出がよみがえりました。見てすぐ名前が言えるほど懐かしい顔ぶれを前に、卒業年度を担任された三須吉隆先生も満面に笑みを浮かべていました。

進路指導の一つとして、同窓会では児童たちに、卒業生による授業を企画・実施してきました。この卒業生による授業を始めて、今年で六年目。今までに、歯科医師である嶋崎会長が「歯みがきの仕方」、同じく第一回卒業生の美容室経営者である山崎洋平さんが「洗髪の仕方」の授業を行ってくださいました。うれしいことに、それに続く同窓生

たちも数多く社会で活躍しております。第七回卒業生の竹内佐織さんはご自分の卒業制作の一環として、デザインした洋服を児童たちに着させてくださいました。児童たちは自分たちの先輩からいろいろな職業があることを学び、志を強く持ち、頑張る続けることの大切さを知らると同時に、大きな夢をもらい、瞳を輝かせていました。今後ともこうした卒業生による授業を実施し、同窓会の活動を推進してまいりたいと思えます。

幼稚園短信

多摩中央幼稚園 楽しみな父親参観

一年に一度、お父様やおじい様など、男性の目で保育に参加していただく「父親参観」が、六月五日(土)に行われます。保育前には、講師の先生をお招きして、今、お父様・おじい様が興味・関心のある事柄、子どもについてなど、その年ごとに合わせた内容で講演をしています。講演後は各クラスにて親子でリズム遊びをし、お父様方が軽く汗をかいた後は、集団遊びや親子

体操、マットやリングを使った遊びやタオル遊びなど、親子でたくさんスキンシップをとる活動を取り入れ、毎年どのクラスからもたくさんのお父様や笑い声が聞こえてきます。

そして、父親参観のメインイベントでは、一人ひとりが感謝の気持ちを込めて作ったプレゼントを、「いつもありがとうございます」「お父様の感謝の言葉と「すてきなパパ」の歌と共に、お父様にプレゼントします。毎年、子どもの成長を感じ、涙ぐむ保護者の方もいらっしゃいます。



お父様方にとっては一年一度の参観になる方も多く、普段仕事が忙しくなかなか子どもと遊ぶ機会の少ない方も、この日ばかりと思いい切り遊んでくださり、園児たちにとっては楽しみな行事の一つになっています。

三田幼稚園 さわやかな季節の中で 春の遠足

毎年五月のゴールデンウィーク明けに、年長組は府中郷土の森へ、年少・年中組は親子で新宿御苑へ遠足に行きます。

年長組の遠足では、広場で遊んだり散策しながら、竹の子の生長過程に驚いたり、春の草花を見たり、虫を見つけたりと自然体験満載の遠足です。天気が良ければ、午後からは「じゃぶ

じゃぶ池」で水遊び。水の掛け合いっこをしている姿や、浅いところに座り込み、お友達とおしゃべりを楽しむ園児がいたり、思い思いに水遊びを楽しんでいます。年少・年中組の遠足で行く新宿御苑は、大都会の騒音などが見事に遮断されています。広場で親子のスキンシップをとりながら、集団遊びや体操などを行います。まだまだ入園したての三歳児にとっては、保護者と一緒に遊ぶことを楽しみなながら、親子で友達作りを

するきっかけにもなります。クラス単位でお弁当をみんなで楽しく頂き、楽しいお話も活発に飛び交っている様子です。途中、昼食前に園児だけの散策や保護者だけのゲーム大会なども行います。

保護者と離れてお散歩に行く時は、寂しくて泣いて抵抗する園児もいますが、二十分間くらいのお散歩から戻るとみんな、にこにこ顔で保護者の元へ帰りま



府中郷土の森にて



新宿御苑にて

そして、少しずつ自立する心の芽生えも大きくなっていくことがよく分ります。一つひとつの豊かな経験が園児たちの成長を促す、春の遠足です。

八王子中央幼稚園
大きく、大きく
大きくなくれ!!

毎年五月に、トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、サツマイモなどの苗を園庭の花壇や、プランターに植え、園児たちと共に世話をし、それぞれの生長の仕方や、実の成り方を知り、収穫の喜びを味わっています。
入園したばかりの年少児が「トマトさん、お水ですよ!早く大きくなってね」と、話し掛けながらお水をあげている姿や、泣いて登園していた園児が「お水をあげなくちゃ」と、目的を持って泣かずに登園するようになる姿も見られます。また、年中・年長児になる



と植物図鑑を見ながらそれぞれの生長に興味や期待を持った「先生!トマトの葉はトマトの匂いがするよ」「大変!ナスの葉の裏に小さな虫がついてる!」「キュウリのお花は黄色なんだね。初めて見た」などさまざまな発見をし、目を丸くさせている園児たちです。そして、教師も園児たち

も一番楽しみにしている収穫は、いつも満足感いっぱいの笑顔で満ち溢れています。「やったー!」と収穫した野菜を持って喜んでいたり、「トマトさん、大きくなってきてありがとう」「ナス嫌いだったけど食べるね」と感謝の気持ちを持ちたり、苦手だった野菜が食べられるようになったりと、栽培を通して園児たちの心も体も大きく成長しています。

附属浦安幼稚園
これからの幼稚園
生活に期待いっぱい

今年も幼稚園園庭に大島桜が色鮮やかに咲き競いましたが、あいにくの小雨の降る日の入園式、進級式となりました。聖徳大学附属浦安幼稚園の制服に身を包み、保護者に手を引かれ、幼稚園の門をくぐりました。月曜日にもかかわらず、父親も子どもの手を引き、クラス表示のところでは、我が子のクラスを確認していました。お手洗いを済ませるとホールに集まり、席に着きました。しかし、初めての環境に驚き、不安定になり、泣きじゃくり、また、椅子を後ろ向きに座り、父親、母親の方を振り返り、泣いて訴える園児など、さまざまな姿が見られました。皆

さん!おめでどうございませ」という言葉でなく「おめでとうございます」と復唱していました。次に、園長先生が折り紙で作ったペープサートでお話すると、泣いている園児、椅子に足をかけたがり、落ち着かない園児も先生の方を向き、水を打ったように静かになりました。先生方のハンドベルの演奏が始まると、ベルのきれいな音色に聞き入り、そんな我が子の姿に保護者の方も少し安心した顔が見られました。先生から風船と絵本のプレゼントをかわいい小さい手で受け取り、にこにこ笑顔でご両親や祖父母と一緒に帰途につきました。

午後からの進級式では、クラス発表掲示を見て、携帯で撮影したり、また、同じクラスであることを喜んで取り組んでいます。

附属第二幼稚園
もうすぐ給食スタート
「ならし給食」

入園式、進級式から約三週間。園児たちの幼稚園生活が軌道に乗る四月下旬より、毎年本格的な給食がスタートします。一日も早く給食の雰囲気慣れ、友達と一緒に食べる楽しさを味わえるように、事前に「ならし給食」を実施しています。

いたもの、おやつが配られると同時に「いただきます」の挨拶を待たずに食べてしまったり、また、食べ終わってすぐに立ち歩きをする園児が何人もいました。このような姿を見て、もうすぐ園児たちと根比べの食事指導が始まることを実感しました。
本園では完全給食を実施して三十九年。給食を通して、偏食矯正、体力の増強、発育増進はもちろんのこと、正しい食事マナー、箸の正しい使い方を学ぶなど教育面でも大きな成果をあげてきたと思っています。しかし、時代の流れの中で家庭の「食」に対する考え方や習慣が様変わりをし、年々園児たちの指導の難しさを感じています。「食」は、生きる上での基本。また、幼

附属第三幼稚園
対面式を終えて

四月十三日(火)に幼稚園ホールで、新入園児と進級児との対面式が行われました。四月七日(水)の入園式では泣いてばかりいた新入園児も、少しずつではありますが幼稚園の生活にも慣れ、所持品の始末や衣服の着脱など、自分でやろうとする姿が見られるようになってきました。一方、進級児は七日以来、初めての登園で幼稚園が始まるのをとても楽しみにしていたようです。新しいバッチを胸につけ、元気いっぱいに登園してきました。

全園児が登園してきたところで、園児たちは担任の先生に連れられホールにや

「むすんでひらいて」の手遊びがあった時には泣きやんで、歌を聞いたり、楽しく参加していましたが、すぐに飽きてしまいウロウロしたり、泣いたりしている園児も見られ、援助が必要でした。
最後に進級児の年中組が花道をつくり、年長児が少し緊張した顔で新入園児の手を引いて保育室まで送り届け、この日の対面式を終えました。泣いてばかりで落ち着かない新入園児に比べ、進級児の成長を改めて感じるとともに、保育の大切さを再認識した一日でもありました。

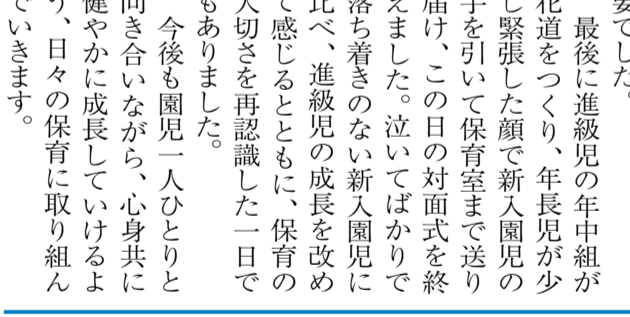
今後とも園児一人ひとりと向き合いながら、心身共に健やかに成長していけるよう、日々の保育に取り組みしていきます。

附属幼稚園
保護者の調和と
親和を図る
父母の会

新学期が始まり、園児たちも新しい環境に慣れ始めた四月十三日(火)、父母の会総会が開催されました。この父母の会とは、幼稚園の後援会として幼児教育推進のため、在園児の父母により構成され、その方々が会員となり、子どもまつり、盆踊り会、運動会、クリスマス会などの幼稚園行事や園内外の整備など、さまざまな形でご協力をいただいているものです。また、保護者の皆さまの交流を深める場にもなっています。

本年度の父母の会総会当日は、平日の午前中にもかかわらず、お母様だけではなくお父様の姿もあり、会員の約八割が参加し、意識の高さを感じました。
開会の辞に続き、継続して六年間役員を引き受けてくださった前年度会長が、六年間の父母の会活動を通じての話をされ、これからの会員の方々にエールを贈られました。園長先生からは、「お子様方にとって有意義な園生活を送るために、保護者の皆さまのご協力をお願いします」と話がありました。
その後、平成二十二年度父母の会会員の中から新幹事二十四名が、一人ひとり紹介されました。幹事の方々は緊張した面持ちで挨拶をされていました。
新会長の就任の挨拶の後、年間行事計画案や予算計画案などが可決され、成

人教育部の活動では、コーラス部、ベルマーク回収部、廃品回収部から活動内容の説明がありました。その説明の中で、昨年度の三月に各家庭より一部ずつ古新聞を集めたところ、全園児の総計で約七百キロになったという報告がされ、今年度より試みとして、毎週月曜日、この方法で古新聞を回収することになりました。保護者の方々のアイデアの素晴らしさを感じました。
総会終了後、保護者の方々は、おのおの園児の保育室に移動し、お子様の新しい環境の中で一緒に歌を歌ったり、フォークダンスを踊ったりして楽しいひとときを過ごしていました。
こうして、今年度の父母の会活動がスタートしました。いろいろな面での成果が楽しみです。



子どもの将来を応援します

第43回 SEITOKU夏期保育大学 7月24日(土)開催

「保育の聖徳®」の夏の伝統行事、「SEITOKU夏期保育大学」は、多くの方々のご支援、ご参加により、今年で43回目を迎えることとなりました。今年、「子どもの心～みつめる、ふれる、ともに～」を総合テーマに掲げ、将来を担う子どもたちが、心豊かに楽しく、健やかに育っていくことを願い、子どもの心の成長過程を幅広い角度・視点から見つめ、支えていくことに着目いたしました。

全体会では、テレビや舞台など幅広い場面で活躍されている高見のっぽ氏をお招きし、ご講演をいただきます。午後の分科会では、保育や幼児教育などさまざまな場面で役に立つ、11テーマの分科会を開催いたします。講師との学びを通し、また、同じ現場で働く先生方、子育てに関心のある方々との交流を通し、楽しく充実したひとときをお過ごしいただければと存じます。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



●日時:平成22年7月24日(土) 10時～16時 ●会場:聖徳大学松戸キャンパス (松戸駅東口徒歩5分)

●総合テーマ:“子どもの心～みつめる、ふれる、ともに～”

●全体会:講演/「小さい人とのつき合い方」
講師/高見のっぽ氏(俳優・作家・歌手)

●分科会:

- ① 保育の柱に食育を加えるとー
- ② 保育現場に生かす心理療法
- ③ 家庭との連携の在り方を考える
～見直してみよう、保育者の役割、保護者の役割～
- ④ 体験を通して「育つ心」
- ⑤ 乳児期の子どもの心と保育
～0・1歳を中心に～
- ⑥ 保護者とのコミュニケーション力を伸ばすために
- ⑦ 養育者に甘える子・甘えられない子
- ⑧ 場所と関わる造形あそび
- ⑨ 人形を作ってあそぼう
- ⑩ 子どもの心に届く音楽はどこにある?
- ⑪ 「できる感覚」をもたせる運動遊びへの支援



撮影/雨堤康之

●受講料: 一般:5,000円
卒業生:4,000円
在学生:2,500円

【お申込み・お問い合わせ】 聖徳大学生涯学習課 Tel.047-365-3601(直通)

学校説明会関係行事のご案内

●聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ:0120-66-5531

オープンキャンパス ▶6月20日[日] ▶7月18日[日] ▶8月1日[日] (於:聖徳大学松戸キャンパス)

出張オープンキャンパス

- ▶6月26日[土] 秋田:アルヴェ
- ▶6月27日[日] 新潟:ガレッソホール
- ▶7月3日[土] 盛岡:マリオス
- ▶7月4日[日] 仙台:ホテルコムズ仙台
- ▶7月11日[日] 郡山:ホテルプリシード郡山
- ▶7月19日[月・祝] 山形:山交ホール

●通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) ●お問い合わせ:047-365-1200

入学説明会

- ▶6月12日[土] 静岡:静岡労政会館
- ▶6月13日[日] さいたま:ホテルプリランテ武蔵野
- ▶6月26日[土] 秋田:アルヴェ
- ▶6月27日[日] 新潟:ガレッソホール
- ▶7月3日[土] 盛岡:マリオス
- ▶7月4日[日] 聖徳大学松戸キャンパス
- ▶7月4日[日] 仙台:ホテルコムズ仙台
- ▶7月11日[日] 郡山:ホテルプリシード郡山
- ▶7月17日[土] 千葉:千葉市文化センター
- ▶7月19日[月・祝] 山形:山交ホール

●聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ:03-5476-8811

昼のオープンキャンパス ▶6月19日[土] 13:00～15:00 ▶7月17日[土] 10:00～12:00

夜のオープンキャンパス ▶6月23日[水] 17:30～19:30

●聖徳大学附属女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ:047-392-8111

オープンスクール ▶7月19日[月・祝]

学校説明会 中学校 ▶6月26日[土] 高等学校 普通科 ▶7月3日[土] 音楽科 ▶6月12日[土]

●聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ:0297-83-8111

オープンスクール ▶7月24日[土] 授業見学会 ▶6月19日[土]

●聖徳大学附属小学校(共学) ●お問い合わせ:047-392-3111

学校説明会・授業見学会 ▶6月20日[日] ▶7月10日[土]

※詳細につきましては、お問い合わせください。
※公共交通機関をご利用いただき、お車での来校はご遠慮ください。

東京国際ブックフェアに出展します 聖徳大学出版会(出版事業課)

聖徳大学出版会は、今年も7月に東京ビッグサイトで開催される東京国際ブックフェアの「大学出版部協会」ブースにて書籍を出展予定です。

この東京国際ブックフェアは日本最大の書籍の展示会であり、書籍の特別価格での提供、各種セミナーや、トークショーなどイベントも満載です。

年に一度の機会ですのでご興味のある方は、どうぞご来場ください。

●会期:7月10日(土)～11日(日)(一般公開日) ●会場:東京ビッグサイト(東京都有明)

聖徳大学楽習フェスタ2010

～第12回 聖徳大学生涯学習フォーラム～

●日時:6月19日(土)13:00～16:30 6月20日(日)10:00～16:00

●場所:聖徳大学生涯学習社会貢献センター(10号館) [松戸駅東口徒歩1分]

●参加費:無料

●1日目は「教え方のプロ」向山洋一氏の講演会(要事前申込み)、2日目は全館を使っての市民のお祭り。地域おこしに一役買ったお菓子や土産物を集めた「ふるさと味じまん」をはじめ、子どもから大人まで楽しめるブースが盛りだくさん!



昨年の様子

【お申込み・お問い合わせ】 聖徳大学生涯学習研究所 Tel.047-365-5691(直通)

集まれ! アートパーク～音であそぼう～

●日時:7月4日(日)(小雨の場合決行) 10:00～15:00

●場所:松戸市松戸中央公園 ●参加費:無料

●対象:松戸市内外の子ども100名程度

●いつもの公園が別世界に!いろいろな素材を使って、自然の中でアートを楽しもう。大学生と一緒に、「音」を創り出したり、絵具でおもしろいペイントしたり、ゲームを楽しんだり内容盛りだくさん!



昨年の様子

【お申込み・お問い合わせ】 聖徳大学生涯学習研究所 Tel.047-365-5691(直通)

信州春日温泉 かすが荘 長野県佐久市春日2258-1

〈ご利用料金〉

一般 9,400円～ のところ
学生・教職員 5,400円～
卒業生・ご家族・同伴者 8,300円～
(1泊2食付)

〈ご予約〉

ご予約・お問い合わせは
現地フロント係が承ります。
お気軽にお電話ください!

Tel.0267-52-2111

施設の詳細などは本学園HPでご覧いただけます。どうぞご覧ください!
<http://www.seitoku.jp/gakuen/house/>

〈周辺の観光スポットご案内〉



蓼科山頂上からの風景

蓼科山(たてしなやま)

長野県佐久市に学園のセミナーハウス・かすが荘があります。そこから車で20分のところに、蓼科山への登山口があります。蓼科山(標高2,500m)は、毎年、附属女子高等学校と取手聖徳女子高等学校の1年生が校外学習でハイキングに行っています。

セミナーハウスの担当で蓼科山に登った職員がいなかったため、昨年の9月に附属女子高等学校の校外学習に同行し、蓼科山に登りました。体重の重い身には道中が大変で、先頭で出発し、帰りは最後尾で下山しました。その間、生徒たちに「頑張ってください」と温かい声援を頂きました。頂上から見る景色はとて素晴らしい、目の前に雲があり、眼下に周囲の山々を見下ろすことができました。

大学院・大学・短大同窓会「香和会」第43回 総会・懇親会のお知らせ

おかげさまで、本学は大学創立20周年(短期大学部創立45周年)を迎え、香和会の総会並びに懇親会を下記の通り開催いたします。先生や同窓生と語り合う楽しい一日、ぜひご参加ください。

- 日時:7月18日(日)
- 場所:聖徳大学 新1号館
- 懇親会費:1,000円 (ご同伴の中高校生500円(小学生以下無料))
- 新1号館見学スペシャルツアー AM10:30～11:30
- 総会受付開始 AM11:30～
- おめでとう聖徳大学創立20年総会・懇親会 PM12:00～3:00

毎年、お子様連れの参加も多く大変好評です。
楽しいイベントや抽選会もあります。

【お申込み・お問い合わせ】 香和会事務局 Tel.047-366-5084(直通)

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28

TEL.03-5476-8811(代)

発行人/川並弘昭 編集/総務課



この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。

10.6.1 re(2.)

読者の声

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆さまの広報誌です。今後、ますます充実させていきたいと思っておりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

ご意見・ご感想の宛先

〈郵送〉〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで
〈インターネット〉<http://www.seitoku.jp/gakuen/toiwase/> (頁下段の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)

インターネットを利用して皆さまの聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で学園オリジナルグッズをプレゼントしております。

〈アンケートURL〉 <http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/>